

◆ 事務局

「令和6年度建築士定期講習」の日程について

令和3(2021)年度に受講された方は今年度が受講年度です。今年度から申込方法が変わりました。①建築技術教育普及センターのホームページからインターネットで直接お申込み②紙の申請書(建築技術教育普及センターのホームページからダウンロード)を富山県建築士会へ郵送 のいずれかの方法でお申し込みください。3年前に普及センターの建築士定期講習を受講された方には、年度初めに普及センターから案内が届いていますのでご確認ください。

会場 コート	日 程	会 場	講 義	定 員
3B-04	10月3日(木)	高岡文化ホール	DVD	80
3B-05	11月28日(木)	富山県民会館611	DVD	60
未定	令和6年12月～ 令和7年3月	富山市(予定)	未定	未定

時間:9:20～17:30

受講料:12,980円(消費税・テキスト含む)

申込先:建築士会事務局 平日9:00～17:00

問合先:建築士会事務局 担当:佐藤

※詳細は本会ホームページをご覧ください。

建築関係技術者のための「監理技術者講習」(DVD講習)の日程について

回	開催日
④	令和6年 9月26日(木)
⑤	令和6年 11月19日(火)
⑥	令和7年 3月18日(火)

会場:富山県建築設計会館3階

時間:受付9:00開始 講習+試験9:30～17:25

※詳細は日本建築士会連合会ホームページをご覧ください。

「令和6年度既存住宅状況調査技術者講習」の日程について

令和3(2021)年度に受講された方は今年度が更新年度となります。他団体で資格取得された方も、建築士会の講習で更新が可能です。本年度のDVD講習は終了しましたので、オンライン講習にお申込ください。

【オンライン講習】

区分	回	学習期間(オンライン)	申込締切
更新	9月前期	9月1日(日)00:00～ 9月15日(日)23:59	8/17(土)
	9月後期	9月16日(月)00:00～ 9月30日(月)23:59	9/2(月)
	10月前期	10月1日(火)00:00～ 10月15日(火)23:59	9/17(火)
新規	10月	10月1日(火)00:00～ 10月15日(火)23:59	9/17(火)

受講料:更新17,000円 新規21,450円

申込先:日本建築士会連合会

※詳細は日本建築士会連合会ホームページをご覧ください。

◆ 富山支部

富山ブロック研修事業「新潟県上越地方訪問、見学ツアー」のご案内

日時:令和6年10月5日(土)～10月6日(日) 一泊二日

出発・解散場所(予定):富山市八尾町、富山市婦中町、富山駅北

見学地(予定):

10/5 上越市直江津地区 親鸞聖人ゆかりの居多ヶ浜・居多神社・五智国分寺 等

上越市春日山地区 上杉謙信ゆかりの春日山城跡・林泉寺 等

上越市高田地区 400年の歴史を持つ街にある町家交流館・
警女ミュージアム・旧今井染物屋・高田世界館(日本最古級
の映画館)・百年料亭「宇喜世」等

10/6 上越市 前島記念館・岩の原葡萄園・あしんの里記念館
等

糸魚川市 谷村美術館・翡翠園・玉翠園 「谷村美術館を学ぶ
会」による解説付

宿泊:10/5 上越市【高田ターミナルホテル】

内容:今回の富山ブロック事業では、新潟県建築士会上越支部
の皆様のご協力を頂き、上越地方の訪問事業を開催します。
上杉謙信や親鸞聖人ゆかりの場所を訪れ城下町高田の歴史
ある建物や街並みを地元建築士会の皆様にご案内頂きなが
ら巡ります。

夜間は登録有形文化財の百年料亭「宇喜世」の見学の後、交
流・懇親会を実施いたします。谷村美術館では一般には経験
できない方法も取り入れて、解説付きでの見学会となります。

定員:先着順 20名(どなたでも参加できます)

予定参加費(上限):会員 32,000円 一般 37,000円

(バス料金、宿泊費、各日昼食費、新潟士会との懇親会費用等
含む)

建築 CPD:申請予定

申込先:FAX:076-425-1831

E-mail:y-togashi@fugen-corp. co. jp

※添付のリーフレットより、QRコード(フォーム)又は、FAX・
メールにてお申し込み下さい。

申込期限:令和6年9月20日(金)

※定員(20名)に達し次第締め切ります。

問合せ:富山支部 担当 富樫吉規 TEL:090-3769-8196

◆ 新川支部

「にゅうぜん商工フェア～まつりんぴっく 2024～」開催のご案内

日時:令和6年10月20日(日)10:00～14:00

会場:入善まちなか交流施設 うるおい館(入善町入膳 5232-5)

内容:入善町の旬な味覚や地場産品などの特産物販売、町内企
業を中心としたオリジナル技術や製品・サービスなどを一同
に体験できるイベントに出展します。会場(うるおい館 2階
イベントホール)に住宅相談のブースを設置し、木造住宅倒

壊模型(ピノキオぶるる)の実演を行うとともに、木造住宅耐
震診断の受付や改修などの相談を受けます。是非、会場にお
越しください。

参加者:どなたでも参加できます。

参加費:無料

問合せ:新川支部 担当:岡

(TEL:0765-72-2421、FAX:0765-72-2423)

◆ 富山県土木部建築住宅課

被災建築物応急危険度判定現場研修会のご案内

日時:令和6年9月24日(火)13:30～16:30

会場:講 義 射水市片口コミュニティセンター

(射水市片口高場 175-1)

現場研修 片口県営住宅(射水市新片町一丁目 8-1)

講師:澤田 徹 氏(一般財団法人富山県建築住宅センター 検
査第二課長)

※申込等の詳細は、同封の案内チラシをご覧ください。

◆ 日本建築学会北陸支部富山支所

2024年度建築文化週間企画

とやまたても探偵団2024 見学会『YKKのま ちづくり・住まいづくりを学ぶ』

富山県黒部市の YKK 関連施設(パッシブタウン、I-TOWN、K-
TOWN)の視察を通して、YKK グループが取り組むまちづくり・住
まいづくりを学び、環境に配慮し快適な住空間創出を実現す
る持続可能な社会について考えます。

主催:日本建築学会北陸支部富山支所

日時:2024年10月1日(火)9:00～17:00

見学先:パッシブタウン、I-TOWN、K-TOWN ほか

集合場所:富山大学高岡キャンパス

(富山県高岡市二上町 180)8:50 集合

対象:どなたでもご参加ください。(小学生以下は保護者同伴)

定員:20名(申込先着順)

参加費:1,500円(昼食代、バス代、保険代含む)

申込方法:9月17日(火)までに電話もしくはE-mailにて、「氏
名、所属先、連絡先(TEL、FAX、E-mail)」を明記のうえ、お申し
込みください。

申込先・問合せ:富山大学 芸術文化学部 藪谷祐介

TEL:0766-25-9200 E-mail:yabutani@tad.u-toyama.ac.jp

「令和6年能登半島地震」対応（医師会&建築士会）合同報告会と富山県医師会館見学会報告

（公社）富山県建築士会交流委員会・女性委員会&新建築家技術者集団富山支部 共催

開催日：令和6年7月20日（土）14：00～16：50

開催場所：富山県医師会館（富山市黒崎33番地）

報告者：富山県医師会会長 村上美也子氏 副会長 堀地肇氏、富山県建築士会会長 西野晴仁氏

参加人数：（公社）富山県医師会 会長・副会長・事務局 5名 （公社）富山県建築士会 33名

一般4名 新建築家技術者集団富山支部5名 会館設計者2名 合計49名

令和6年元旦の地震は歴史に残る大きな爪痕を残しました。震源地の能登半島は未だに先の見えない状況です。そんな中、いち早く被災地に寄り添い、活動されてきた（公社）富山県医師会と（公社）富山県建築士会の活動を両会長から聞く機会を設けました。加えて、昨年新築された災害対応の拠点ともいべき富山県医師会館を医師会のご厚意により見学させて頂きました。



医師会 村上氏による報告



建築士会 西野氏による報告



報告会の様子

【第一部 令和6年度能登半島地震の対応報告】

富山県医師会会長の村上氏より、医師会の対応報告をお聞きしました。大規模災害に対応する仕組みが出来ており震災直後の1月2日より災害対策本部を立ち上げたこと。発災直後から厚生労働省の医療チームDMATが活動し始め、その後1/13よりJMAT（日本医師会災害派遣チーム）が能登地域に派遣され全国各地、そして富山県内からもたくさんの医療職の方々が活躍されたそうです。

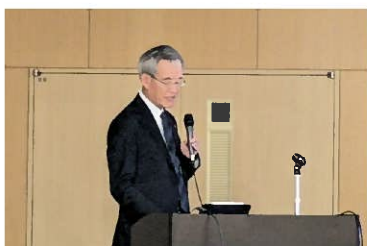
富山県建築士会会長の西野氏より、1/3～1/16実施した応急危険度判定への派遣、1/17～2/8と4/17～5/31高岡、氷見、射水、富山市で被災住宅相談所を開設したこと、被災家屋の罹災証明二次調査への協力、耐震化と液状化被害復旧セミナーの開催、文化財ドクターの取り組みなどの報告がありました。

【第二部 見学会】

会館建設担当としてご尽力された医師会副会長の堀地氏より建設の経緯を伺いました。旧会館は1981年竣工、富山県の象徴ともいえる合掌造りのような外観が特徴でした。地下水の影響で地階は除湿してもカビが発生する程の湿度に悩まされたそうです。建設地の選定、資金面についても説明していただきました。

次に設計を担当された、押田建築設計事務所の数井氏より設計趣旨をお聞きしました。コロナ渦での計画だったのでホールは感染対策を考慮し床吹き出し空調方式を採用したこと、建物内部より見える景色を考慮したことなどを聞きしたのち、実際に内部の見学をさせていただきました。

この建物は非常時の電源確保、浸水対策など災害時においても業務持続可能な建物だそうです。ハード面での整備はとても大事ですが、実際に起きた災害に対してどのように対応していくのか、いち早く活動できる仕組みづくりもより大切だと実感しました。



医師会 堀地氏の建設経緯説明



押田設計 数井氏の設計趣旨説明



女性委員会、交流委員会参加者の集合写真

記：富山県建築士会女性委員会委員長 富樫久美子

I. 「令和6年能登半島地震」対応経過報告・質疑応答

医師会の村上会長より報告があり、その後建築士会の西野会長より報告（内容は会場配布の今村さんの記事参照）がありました。村上会長への質問の返答で、1/13の震災直後に能登の北端に仲間の先生を送り出された時の心境の話は大変リアルで、医師会の最高責任者としての重い決断と、送り出した先生方の安全を心配する優しさがダイレクトに伝わってきました。今回、参加者には女性建築士も多数参加されていました。女性で医師という高い専門性の仕事を生業とし、尚且つその集団をまとめる立場の村上医師会会長へは、女性建築士のファンがかなり出来たのではと思います。

II. 富山県医師会館建設経緯紹介・富山県医師会館見学

医師会の堀地副会長より15分間建設経緯紹介がありました。建設に係る生の数字も見せながら、施主の立場からのお話を聞かせる機会は大変貴重でした。皆さんかぶりつきで聞いたと思います。その後押田建築設計事務所の数井室長より平面計画・震災対応・日射計画についてお話を頂きました。見学は2班に分かれて行いました。医師会の会長・副会長も一緒に周って頂き、一段と濃い時間を持たせて頂きました。中廊下形式で西側ルーバー、東側は眺望を広く取り立山が見え、動線もスッキリした基本計画は、あの場所にジャストフィットと感じました。利用者にとって使いやすいと思います。2階のオカムラによる家具の配置は斬新で、移動式の電源タイプや交差するデスクは未来的でした。建設に携わった役員の方々のご苦労が実った建物だと思いました。

今回の企画は新建と交流委員会及び女性委員会からの合同発案で、富山県医師会と富山県建築士会という各々1000人を超える規模の団体のご協力を得て実現したものです。建築士会専務理事今村氏に事前調整から当日の進行役迄ご尽力頂き、富山県建築士会と富山県医師会の初めての合同企画が実現しました。建築士会では交流委員会と女性委員会の2つの委員会が1部と2部で協力しながら司会しました。

少子高齢化の波をかぶり、新建をはじめとする建築界の活力が目に見えて減っていく中、起爆剤となるような中身の濃い充実した企画でした。



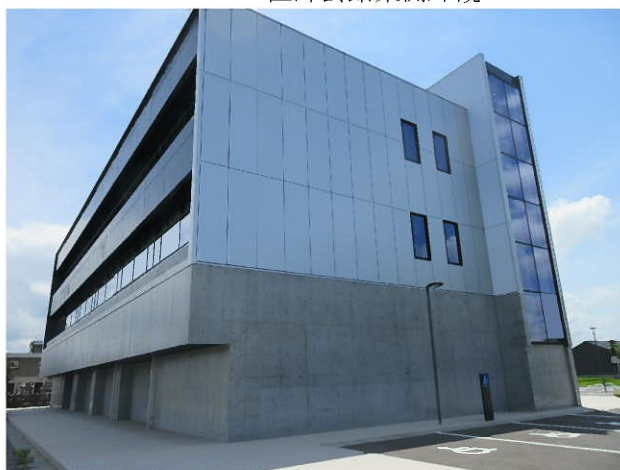
報告会の様子



医師会館東側外観



内部見学の様子（2F）



医師会館南側外観

記：富山県建築士会交流委員会副委員長 上梅澤保博